

会長挨拶

日本小児歯科学会関東地方会  
第19代会長 浜野 美幸



関東地方会の会員の皆様におかれましては、平素より関東地方会の会務運営ならびに事業へのご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。コロナ禍も収束し、様々な日常の制約もなくなり、新しい時代への転換期と感じております。関東地方会幹事会でも次期に向けて新たな試みを進めております。なお、日本小児歯科学会第38回関東地方会大会・総会におきましてご承認をいただきましたので、来年度も浜野が会長を務めさせていただくことになりました。皆様のご期待に沿えますよう尽力していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、日本小児歯科学会第38回関東地方会大会は昨年10月に埼玉県川口市で開催しました。715名の方にご参加いただきまして、ありがとうございます。対面での開催は、演者の熱意を感じ、質疑応答やディスカッションも直に行うことができ、改めて人との交流の素晴らしさを感じました。今年10月に開催されます日本小児歯科学会第39回関東地方会大会・総会も有意義な大会となるよう準備を進めておりますので、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。

関東地方会幹事会の組織についてですが、23名の幹事のうち1名は歯科衛生士の職域からです。これは関東地方会独自の体制です。現在、歯科における歯科衛生士の果たす役割はさらに大きくなっており、保健指導や摂食指導ばかりでなく、運動機能訓練などの担い手としても活躍しています。また、地方会大会では、認定歯科衛生士のための研修セミナーも開催され、その企画・運営には歯科衛生士の活躍は欠かせません。その現状を受けて幹事会では、定款に則りながら歯科衛生士職域の幹事の増員と、モニター会議における歯科衛生士のモニターの新設を考えております。今年10月に開催される第39回関東地方会大会・総会において提案いたしますので、多くの会員の皆様にご参加いただき、ご協議ならびにご承認いただきたくお願いいたします。

コロナ禍で延期を余儀なくされていましたが各委員会の活動も活性化しております。ジョイント4委員会では、4学会の他に社会歯科学会も交えて、昨年10月にテーマ「障害児・者における国民皆歯科保健を目指して」のセミナーを、Web開催とオンデマンド配信を行い、300名以上の方にご視聴いただきました。また、学術委員会が中心となって、東京小児科医会と協働で市民公開セミナーを開催しました。「親子で考えてみませんか？ じょうぶなからだは歯の健康」のテーマに合わせて、今までは現地開催でしたが、ご家庭で視聴できるように今回はオンデマンド開催にいたしました。皆様のご協力を賜り563名と多くの方にご視聴いただきましたこと、感謝申し上げます。このように関東地方会では、他学会・団体と協働して、公益事業を実施しております。今後も会員の皆様や国民の方に有用な情報を発信できるよう努力してまいります。

最後になりましたが、会員の皆様におかれましては関東地方会の発展のために、今後も学会運営にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 日本小児歯科学会第 39 回関東地方会大会 および総会開催のご案内

大会メインテーマ：すべての子どもを地域で受け入れる社会へ  
—ソーシャルインクルージョンを考える—

日 時：2024 年 10 月 6 日（日）

場 所：ルミエール府中

大 会 長：小方清和

準備委員長：関 龍彦

### 大会長挨拶

日本小児歯科学会の会員の皆さま、そして関東地方会会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、日本小児歯科学会第 39 回関東地方会大会および総会を担当いたします東京都立小児総合センター小児歯科の小方清和です。会場は私が勤務する府中市のルミエール府中にて 2024 年 10 月 6 日に「すべての子どもを地域で受け入れる社会へ—ソーシャルインクルージョンを考える—」をテーマに開催いたします。「ソーシャルインクルージョン」とは障害を抱えている方々を社会から隔離・排除するのではなく、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う、という理念を表した言葉です。障害を抱えている子どもたちが地域で暮らす子どもたちと同じように歯科診療を受けられる環境づくりを推進していければと思います。今大会のテーマといたしました。このテーマを中心に基調講演、特別講演、シンポジウムなどを企画しております。その他にも、ランチョンセミナー、研究者の集い、臨床講演等も予定しております。一般ポスター発表には多くの会員の皆さまからのエントリーをお待ちしております。

日本小児歯科学会関東地方会は、日本小児歯科学会のみならず最も会員数が多い地方会であり、関東 9 大学小児歯科学講座の全面的な協賛を得て開催されております。会員の皆さまに対し、最新の小児歯科医療の寄与ならびに情報交換の場所となればと考えております。

今回の会場はややコンパクトではありますが、準備委員長の関 龍彦をはじめ、本大会を支えていただける準備委員、また当日の大会運営にご協力いただけるスタッフとともに、充実した 1 日を皆さまにお過ごしいただけるよう準備をしまいたします。

今回の 39 回大会からは事前登録制および抄録を PDF 化して活用し、39 回大会ホームページから様々な情報をご覧いただけるよう企画しております。ぜひともルミエール府中までお越しいただき、学会会場で皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。

### 【大会内容】

基調講演 特別講演 シンポジウム（認定歯科衛生士研修セミナー）

ランチョンセミナー 研究者の集い ポスター展示 商業展示 懇親会

# 日本小児歯科学会第38回関東地方会大会・総会を終えて

第38回大会大会長 高橋 康男

本大会は2023年10月1日(日)埼玉県川口市の川口総合文化センター・リリアにて開催されました。会場は川口駅西口正面にあり、駅からのコンコースに沿っての入館が可能でした。ちなみに、リリアとは川口市の花であるテッポウユリが由来だそうです。会場はホール棟とタワー棟からなり、コンサート等も多く行われています。参加者の多くからはその立地の良さから概ね好評でした。

本大会のメインテーマは新型コロナウイルス感染症拡大等により陥った社会全体の閉塞状態に、我々小児歯科医が率先し臨床の場から現状打破に挑んでいこうという意気込みから、「いくぞ小児歯科—災禍から立ち上がる明日につなぐ臨床へ—」としました。また、開催意義を明確にするため本会大会以上に臨床面に特化した内容となりました。

まず、基調講演では白川哲夫先生が「エビジェネティクスと小児歯科医療」という演題名にて、エビジェネティクスについて解説いただき、歯科疾患との関わりに対する知見をご講演いただきました。特別講演では岡明先生が「今後の小児医療と歯科に期待するもの」という演題名にて、小児医療を取り巻く状況から、これからの小児医療の方向性を示すご講演をいただきました。医科歯科連携の重要性も再認識されました。

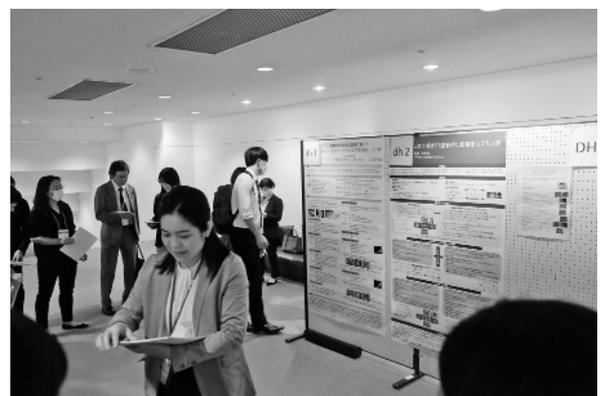
ランチョンセミナー1では(株)松風の協賛にて、土岐志麻先生から「アフターコロナのう蝕予防・治療にはプラスαが必要!」という演題名で、ランチョンセミナー2では江崎グリコ(株)の協賛にて福本敏先生から「エナメル質の積極的な改良を目指した齲蝕予防アプローチ~リン酸化オリゴ糖カルシウムのエナメル質再石灰化への効果~」という演題名でご講演いただきました。

午後のメインホールではそれぞれの分野で最先端を牽引されている講師の先生方による臨床講演が行われました。臨床講演Ⅰでは田沼順一先生から「日常診療の際に役立つ口腔粘膜疾患の鑑別と対処法」という演題名にて、口腔粘膜疾患と鑑別方法について解説いただき、細胞診のための口腔内細胞サンプルの採取方法等についてご講演いただきました。臨

床講演Ⅱでは福田謙一先生から「歯科における小児患者の全身管理・疼痛管理」という演題名にて、歯科診療中に起こりうる偶発症および疼痛に関する基礎的知見から、その管理に至る幅広い知見をご講演いただきました。臨床講演Ⅲでは石谷徳人先生から「永久歯先天欠如を有する小児患者への対応について」という演題名にて、永久歯先天欠如に対する早期スクリーニングの必要性と、その実践的な対応法についてご講演いただきました。

数年前から開催されている企業セミナーですが、本大会でも開催されました。企業セミナーAはインビザライン・ジャパン(株)の協賛にて、前田耕作先生から「インビザライン・ファーストを用いた第1期治療」、企業セミナーBは(株)松風の協賛にて、福本敏先生から「エナメル質のバイオアクティブ成熟化戦略~こどもPMTCの実践による新しいう蝕予防法を提案~」という演題名で、さらに梶美奈子先生から「歯科衛生士の目線 バイオアクティブ歯面研磨材“PRGプロケアジェルα”のマルチイオン効果とは?」という演題名でご講演いただきました。

認定歯科衛生士研修セミナーは小川匠先生から「歯科診療におけるデジタル情報の活用について—小児顎骨再建の一症例を通じて—」という演題名にて、歯科補綴学的見地からのデジタル技術に対する解説をいただき、吉久保典子先生から「小児に活用する! IOSを使ったデジタルコミュニケー



ポスター展示会場



第38回関東地方会大会

「シモン」という演題名にて、診療室での口腔内スキャナーを活用したコミュニケーション方法についてご講演いただきました。多くの歯科衛生士にとって非

常に興味ある内容でした。

研究者の集いでは、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学・障害者歯科学分野、日本大学松戸歯学部小児歯科学講座、東京歯科大学小児歯科学講座より、ご発表いただきました。ポスター発表では特別企画として関東9大学による「一当科の研究から30年後の小児歯科を予想する一」を発表いただき、一般演題については34演題にものぼり、盛会裏に会を終えることができました。

最後に、ご後援をいただいた埼玉県歯科医師会、埼玉県歯科衛生士会、川口市、埼玉県の関係者の皆様、ご協賛いただいた企業の関係各位、関東地方会役員の先生方、口腔保健協会事務局の方々、そして1年以上前から大会準備に携わっていただいた大会準備委員会の先生方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

## ●日本小児歯科学会関東地方会 令和5年度総会

日時：令和5年10月1日（日） 9：30～

場所：川口総合文化センター・リリア

### ◎総会次第

#### I. 開 会

#### I. 会長挨拶

#### I. 議長選出

#### I. 報告事項

令和4年度事業概況報告

#### I. 議 案

－ 令和4年度事業承認の件

－ 令和4年度会計決算承認の件

#### － 監査報告

－ 令和5年度事業計画案承認の件

－ 令和5年度予算案承認の件

－ 次期大会（第39回大会）開催案承認の件

－ 次期会長 選出の件

#### － その他

#### I. 閉 会

### ◎令和4年度 事業報告（令和4年度：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

#### ●幹事会開催

令和4年4月13日、6月14日、9月21日、  
11月16日、

令和5年2月15日（web）（計5回開催）

#### ●日本小児歯科学会第37回関東地方会大会および 令和4年度総会

令和4年10月16日（茨城県・取手）

#### ●モニター会議

令和4年10月16日（茨城県・取手）

#### ●関東9大学小児歯科学講座・分野との懇談会

令和5年1月23日開催（お茶の水 会議室ワイム）

#### ●公益社団法人日本小児歯科学会 理事会出席

第259回 令和4年4月12日（web）

第260回 令和4年4月（書面会議）

第261回 令和4年5月18日（幕張メッセ・  
第60回日本小児歯科学会）

第262回 令和4年9月4日（web）

第263回 令和4年12月4日（web）

第264回 令和5年1月（書面会議）

第265回 令和5年3月5日（web）

第266回・267回 令和5年3月・4月  
（書面会議）

第268回 令和5年9月3日（web）

#### ●こどもの健康週間2022パンフレット発行 （令和4年11月）

#### ●会報第37号発行（令和5年2月28日発行）

#### ●関東地方会ホームページの運用

令和4年度日本小児歯科学会関東地方会・会計決算報告

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

科目		決算額 (円)	備考	
I 収入の部	会費収入	入会金	0	
		会費収入	0	
		賛助会費収入	0	
	事業収入	大会収入	1,641,002	第37回関東地方会大会収入合計
		広告収入	44,000	会報第36号広告収入
寄付金収入	寄付金収入	6,946,774	本会からの補助金 2,401,644円 (第37回学会補助金 377,644円含む) 繰越金 4,545,130円	
雑収入	受取利息	0		
	雑収入	0		
当期収入合計 (A)		8,631,776		
II 支出の部	事業費	会誌刊行費	703,812	第37号会報
		大会補助金	700,000	第37回大会および第38回大会地方会大会への補助金
		大会事業費	3,568,646	第37回地方会大会支出合計
		次年度大会会場費等前払金	1,000,000	第38回大会
		公開講座費	0	
	管理費	各種委員会費	26,339	
		幹事会費	449,664	
事務費		58,615		
ホームページ運用費		0		
特別支出	寄付金支出	2,124,700	本会会計へ返金 (繰越金)	
予備費	予備費	0		
当期支出合計 (B)		8,631,776		
再掲：当期支出合計 (A)		8,631,776		
再掲：当期支出合計 (B)		8,631,776	うち繰越金 2,124,700円	
当期収支差額 (A) - (B)		0		

事業ならびに会計監査報告

令和4年度の事業及び決裁書類・会計書類等の閲覧および照合を行いました。その結果、正しく遂行されたことを証します。

令和5年9月13日

監事 高野 博子  
監事 早川 龍

◎令和5年度 事業計画案 (令和5年度：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹事会および4役会の開催</li> <li>・公益社団法人日本小児歯科学会 関連事業への協力</li> <li>・日本小児歯科学会 第38回関東地方会大会および令和5年度総会の開催</li> <li>・モニター会議の開催</li> <li>・関東9大学小児歯科学講座・分野との懇談会の開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報 (第38号) の発行</li> <li>・こどもの健康週間事業への参画</li> <li>・関東地方会ホームページの運用</li> <li>・小児科との連携・協働</li> <li>・日本小児歯科学会 各地方会および他学会との交流</li> </ul> |
|---|---|

- 日本小児歯科学会 第39回関東地方会大会および令和6年度総会の準備
- 地区小児歯科標榜医への啓発
- ジョイント4への参画  
(公益社団法人 日本小児歯科学会関東地方会、  
口腔衛生関東地方研究会、公益社団法人 日本

- 障害者歯科学会、日本歯科衛生学会)
- 委員会の開催  
(ジョイント4委員会 歯科衛生士委員会 モニター委員会 広報・学術委員会 ICT委員会)
- その他、目的を達成するための活動

令和5年度日本小児歯科学会関東地方会・予算案

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

科目		予算額	備考
I 収入の部	事業収入	大会収入	6,800,000
		第38回大会前払い金 広告収入	1,000,000 100,000
	寄付金収入	寄付金収入	4,236,700
	雑収入	受取利息 雑収入	0 0
当期収入合計 (A)		12,136,700	
II 支出の部	事業費	会誌刊行費	700,000
		大会補助金	350,000
		大会事業費	6,800,000
	管理費	公開講座費	600,000
		各種委員会費	500,000
		幹事会会議費	600,000
事務費		35,000	
特別支出	ホームページ運用費	200,000	
予備費	寄付金支出	2,306,700	
予備費	予備費	45,000	
当期支出合計 (B)		12,136,700	

◎会員動向

上段：2024年1月10日現在 下段：2023年1月10日現在 (名)

	正会員	準会員	名誉会員	会員数合計	専門医 指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科 衛生士
茨城県	78	10	0	88	1	12	1	1
	77	10	0	87	1	11	1	1
栃木県	40	1	0	41	0	2	0	0
	39	0	0	39	0	3	0	0
群馬県	45	2	0	47	0	5	0	0
	47	2	0	49	0	4	0	0
埼玉県	238	31	0	269	8	52	4	7
	234	25	0	259	8	53	4	7
千葉県	217	16	4	237	12	46	0	10
	227	11	4	242	13	49	0	10
東京都	843	94	7	944	41	198	14	7
	841	84	7	932	42	198	18	8
神奈川県	318	48	2	368	17	73	4	10
	319	48	2	369	17	78	6	10
山梨県	18	3	0	21	0	0	0	0
	19	4	0	23	0	0	0	0
合計	1797 1,803	205 184	13 13	2015 2,000	79 81	388 396	23 29	35 36

## 委員会報告

### ジョイント4委員会

委員長：草間里織

委員：藤岡万里， 富永真澄， 小平裕恵

国民に毎年の歯科健診を義務づける「国民皆歯科健診」の導入が検討されていますが，障害児・者に対する健診はどのように考えるべきか？ ジョイント4ではこれらの情報共有を目的とし，オンデマンド配信で開催しました。

国民皆歯科健診の導入について秋野憲一先生（札幌市保健福祉局保健所成人保健・歯科保健担当）からの情報提供があり，現在の課題と今後の方略について討議しました。

口腔衛生学会・遠藤浩正先生（埼玉県本庄保健所），日本小児歯科学会関東地方会・小方清和先生（東京都小児総合医療センター小児歯科），日本障害者歯科学会・野本たかと先生（日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座），日本歯科衛生学会・工藤裕子先生（医療法人稲生会生涯医療クリニックさっぽろ）にご登壇いただき，各分野での現状・課題を提言していただきました。

地域に従事する障害者歯科医の「見える化」や研修指導をオーガナイズすることが有効であり，地域格差への対応策は急務であること，医療的ケア児の対応策として関係者のネットワーク構築の必要性，小児の成長とともに見えてくる口腔発達期における問題（乳歯の晩期残存歯，外科処置等）については，全身の状態を把握した上で対応していくことが求められること，より専門性を活かした歯科医療を提供するためには，歯科医師，歯科衛生士ともに組織を巻き込んだ人材育成や卒後研修と，地域格差解消のためのネットワーク構築は必要不可欠ではないかとの意見がありました。「誰一人取り残さない」，そして「最も遅れているところに第一に手を伸ばす」をキーワードとした対面での意見交換は熱意に溢れ，活気みなぎるものとなりました。今後も有意義な企画を目指してまいります。

### モニター委員会

委員長：関口五郎

委員：岩下 智， 中村佐和子， 保田将史， 三井園子

モニター委員会は，関東地方会会員の皆様から地方会の会務や活動などについて広くご意見を伺うことを目的に設けられています。現在，地域歯科診療所勤務医，開業医，大学病院・病院歯科勤務医，歯科衛生士の32名の方々にモニターをお願いしております。令和5年度モニター会議は，第38回地方会大会と同日に対面で行われ，それぞれの医療機関や地域の現状について多くのご報告やご要望をいただきました。

大学病院の先生からは，コロナ対応が5類に移行し徐々に今までの体制に戻りつつあるものの，重度う蝕を有する対応困難な患児が増えており，全身麻酔下治療の待機期間が長くなっている例が報告されました。また外国人患者さんの増加に伴い，診療でも文化の違いを思わせる場面がみられることが報告されました。

地域の先生からは就学前健診での新入児童数の減少など，少子高齢化が進んでいる実態が報告されました。また近医での診療が困難であった患児が専門医の扉を叩く事例も増えていることから，子どもの口腔内を通じて歯科の重要性を保護者にもっと知っていただくことが大切であるとの意見が出されました。さらにコロナ禍で中止していた歯磨きが復活した施設がある一方，スタッフ不足等から歯磨き指導などの口腔ケアが徹底できていないところもあり，引き続き緊張感をもった診療が依然として行われているとの報告がありました。

今後も関東地方会ではいただいたご意見やご要望を検討して，開かれた関東地方会を目指し会務や活動に生かしてゆきます。

### 広報・学術委員会

委員長：熊澤海道

委員：小方清和， 高橋康男， 塩野康裕

広報・学術委員会としての2023年度の活動と今後の活動について報告いたします。

#### 【2023年度の活動】

##### 1. 学術

- ①日本小児歯科学会第38回関東地方会大会の開催  
大会テーマ『いくぞ小児歯科—災禍から立ち上がる明日につなぐ臨床へ—』

日程：令和5年10月1日

川口総合文化センター・リリア

- ②東京小児科医会との協賛事業の参画（小児科と小児歯科の合同公開セミナー）

テーマ『親子で考えてみませんか？ じょうぶなからだと歯の健康』

日程：令和5年12月25日～令和6年1月25日  
（オンデマンド配信）

親子で視聴していただける3つの内容で構成されたオンデマンドセミナーを開催いたしました。  
〈配信内容〉

・「睡眠の大切さ」

国立精神神経医療センター 松井健太郎先生

・「ポストコロナ時代の子どもの食支援」

東洋大学福祉社会デザイン学部管理栄養士

太田百合子先生

・「レベルアップしよう！ 健康な歯のおはなし」

東京都立小児総合医療センター小児歯科

小方清和先生

昭和大学歯科病院歯科衛生士 草間里織先生

## 2. 広報

①広報誌の発刊：年度末に発刊

②関東地方会 Facebook 開設

（詳細は ICT 委員会参照）

③関東地方会 HP の新規作成

（詳細は ICT 委員会参照）

### 【今後の活動】

①地方会大会における学術的な企画運営の参画

②子どもたちの健やかな育ちを考える学会・団体との学術的な交流を図る

・東京小児科医会との協賛事業の参画

③ ICT 委員会との連携

2024年度も ICT 委員会をはじめとする各委員会とより連携を図り、Facebook や新規作成を計画している HP を活用し、迅速かつ幅広い情報提供やセミナー等を発信していきたいと考えています。

## 歯科衛生士委員会

委員長：吉中 律

委員：草間里織，関 龍彦，島津貴咲

2023年度歯科衛生士委員会では認定歯科衛生士研修セミナーとして「歯科におけるデジタル情報の活用について—小児顎骨再建の一症例を通じて—」と題して、鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学

講座小川匠教授・小池歯科医院歯科衛生士 吉久保典子先生にご講演いただきました。

近年補綴分野においてデジタル技術は、積極的に広範に臨床導入されており、デジタル歯科の現状とデジタルデータの応用（成長発育についての視覚素材、顎骨再建症例）として外傷症例を紹介していただきました。DHとして使用されている動画は、取り込まれた画像を子ども自身が操作して360°確認する様子は新しいTell-Show-Doの形を感じました。講演はDHのみならずDr.の参加も多く、活発な質疑応答があり、120名を超える素晴らしいセミナーとなりました。

今後の活動としては認定歯科衛生士の取得に関する広報活動、地方会セミナーの企画運営とともにモニター委員会との連携に務めてまいります。

## ICT 委員会

委員長：権 暁成

委員：諸星孝夫，巢瀬賢一，長弘茂樹，敦賀佐和

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2023年5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。今後、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるほか、幅広い医療機関での患者の受け入れを目指すなど、3年余り続く国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。また、学会などに関しては、Web開催ではなく対面での実開催が再開され、コロナ前の状況に戻っております。

ICT委員会では、今後も参加者の時間や場所を選ばずに参加できるというメリットを最大限生かせるようなコンテンツを会員の先生方に提供できるように活動してまいりたいと考えております。現在、HPの不具合で閲覧しにくい状況であるため、来年度に向けて現在HPを修正・変更作業中でございます。会員の皆様方にはご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

また、迅速な情報提供の場として日本小児歯科学会関東地方会のFacebookを開設いたしました。本会からの情報や関東地方会大会の情報など随時更新してまいりますので何卒、フォロー・シェアの程よろしくお願いたします。

日本小児歯科学会関東地方会

Facebook



## 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会開催

令和6年1月29日(月)、「令和5年度 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会」が開催されました。懇談会は今回で24回目を迎え、大学から朝田芳信教授(鶴見大学)、岩本勉教授(東京医科歯科大学)、荻部洋行教授(日本歯科大学)、菊入崇教授(日本大学)、木本茂成教授(神奈川歯科大学)、清水武彦教授(日本大学松戸歯学部)、新谷誠康教授(東京歯科大学)、船津敬弘教授(昭和大学)【50音順】にご出席いただき、幹事会から幹事21名、監事2名が参加しました。

藤岡万里幹事長の司会のもと岩下智副会長の開会挨拶に続き、浜野美幸会長による会長挨拶が行われました。

「公益社団法人日本小児歯科学会からの報告」では、日本小児歯科学会(専門医制度)について、岩本教授より会員へ負担にならないようにわかりやすい制度にするべく専門医機構へ働きかけていく方針とのことでした。次に清水教授から日本小児歯科学会(新認定医制度)について令和6年1月28日に認定医試験実施、認定医セミナーの開催について、認定医試験実施回数(年2回)についてなどの報告がありました。次に木本教授から第62回日本小児歯科学会について、現在の進捗状況と大会内容について報告がありました。また、準備委員長である浅里仁先生よりご挨拶がありました。最後に新谷教授から日本小児歯科学会全般について、第61回目

本小児歯科学会大会について、令和9年に第31回国際小児歯科学会大会が大阪で開催、台湾小児歯科学会と学術協定の締結、韓国小児歯科学会と学術協定の更新、母子健康手帳の任意様式について厚生労働省へ回答、PDJにインパクトファクター0.8が付与などの報告がありました。

「関東地方会の動き」では、藤岡幹事長より関東地方会会員動向、令和5年度役員、令和5年度事業概況報告および令和6年度事業計画案について、次に山崎優会計より令和6年度予算案の報告がありました。各委員会の活動については、ジョイント4委員会、歯科衛生士委員会、モニター委員会、広報・学術委員会およびICT委員会の各担当幹事より報告がありました。第38回関東地方会大会について高橋康男大会長より報告がありました。第39回関東地方会大会について小方清和大会長より、開催日や会場、テーマが報告され、9大学ポスターテーマについて大学の先生方へ相談がありました。

「各講座・分野からのご意見・ご要望」では、朝田教授から、小児歯科を志す先生が減少傾向、関東地方会には引き続き会員への情報提供を期待するなどのご意見をいただきました。岩本教授から、令和6年10月1日より大学の名称が変更、特に口腔機能をはじめとして小児歯科という分野で様々な団体が立ち上がっていること、日本小児歯科学会において学びの場を提供するための議論を進めていくこと



懇談会の様子

が望まれるなどのお話がありました。荻部教授から、令和8年に第64回日本小児歯科学会大会を鶴見大学と合同開催予定のお話、9大学ポスターテーマについてのご意見をいただきました。菊入教授から、令和5年4月に赴任されたこと、関東地方会と積極的に連携を図りたいなどのお話がありました。清水教授から、認定医制度の周知と9大学ポスターテーマについてのご意見をいただきました。新谷教授から、9大学ポスター発表について業績あるいは専門医ポイント付与などの検討、理事長直轄事業につい

てなどのご意見をいただきました。船津教授から、令和7年4月より昭和医科大学に校名が変更、9大学ポスター発表と同様のテーマで開業医の先生方の発表を検討いただきたいとのご意見をいただきました。木本教授から、臨床発表の共通のテーマを大学と開業医が持つことで、お互い連携を深めることを期待するなどのお話がありました。

最後に浜野会長から総括をいただき、小方副会長の閉会挨拶で終了となりました。

## 第30回日本保育保健学会 in 東京

### 「みなおそう！こころとからだの健康～保育期から就学までの橋わたし～」

会期：2024年5月25（土）～26（日）  
会場：きゅりあん（品川区立総合区民会館）  
会頭：萩原温久（萩原医院）

学会プログラム詳細は日本保育保健  
協議会ホームページより「参加申込サイ  
ト」へいくことができます。



## 各地方会大会開催案内

### 第42回北日本地方会大会および総会

日時：令和6年10月13日（日）  
会場：新潟県歯科医師会館（予定）  
〒950-0982  
新潟県新潟市中央区堀之内南3-8-13  
大会長：梅津英裕  
準備委員長：松井大介  
大会テーマ：「こどもたちの周りで手をつなごう」  
（大会内容）

- 1) 特別講演（認定歯科衛生士研修セミナー）：  
「子育て口育てはまねっこ～乳幼児の口腔機能を育てながら診療室自立教育を歯科衛生士が主導でやってみよう～（仮）」  
講師：宮坂乙美先生（歯科衛生士、茨木市中村歯科キッズデンタルパーク副院長）
- 2) 教育講演1：「口腔機能育成の視点から見た乳幼児へのアプローチ～離乳食・幼児食

の重要性を再認識しよう！～」（予定）

講師：外木徳子先生（小児歯科学会専門指導医、千葉市とのぎ小児歯科院長）

- 3) 教育講演2：「教育現場における給食時の窒息事例について」（仮）

講師：新潟市民病院小児外科医（予定）

- 4) ランチョンセミナー

松風（株）

チャイルドハピネス（株）

講師：日吉正明先生（山口県防府市 ひよしクリニック院長、耳鼻咽喉科専門医、日本小児歯科学会会員）

- 5) 閉会后専門医セミナー

テーマ：「永久歯の萌出障害について（仮）」

講師：齊藤一誠先生（朝日大学歯学部小児歯科分野）

テーマ：「未定」

講師：三瓶伸也先生（日本歯科大学新潟生命歯学部）

大会事務局：（株）シンセンメディカルコミュニケー

シヨンズ 担当：東海林 豊  
〒 950-0983 新潟市中央区神道寺 1-6-14  
TEL 025-278-7232 FAX 025-278-7285  
E-mail：shoji@shinsen-mc.co.jp  
URL：https://shinsen-mc.co.jp/

### 第 43 回中部地方会大会および総会

日 時：令和 6 年 10 月 27 日（日）  
会 場：松本歯科大学  
大会長：水島秀元（福井県）  
準備委員長：大須賀直人（松本歯科大学）  
大会テーマ：「発達障がいは今とこれからを考える」  
（大会内容）  
1) 特別講演：「神経発達症（知的障害・発達障害）  
に認知特性—小児歯科診療で知っ  
ておきたいこと—」  
講 師：本田秀夫先生（信州大学医学部附属病  
院子どもこころ診療部）  
2) 教育講演：「自閉スペクトラム症の心に寄り添  
う歯科治療の実践」  
講 師：小笠原正先生（一般社団法人日本障害  
者歯科学会理事長）  
3) 市民公開講座：「発達障がい者の支援（仮題）」  
講 師：那須野将先生（長野県立こども病院神  
経小児科）  
4) 一般発表（ポスター），専門医・認定医・認定  
歯科衛生士資格更新ケースプレゼンテーショ  
ン，認定歯科衛生士更新必須セミナーなど  
大会事務局：松本歯科大学小児歯科講座内  
〒 399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780  
TEL：0263-51-2106（代表）

### 第 43 回近畿地方会大会および総会

日 時：令和 6 年 11 月 24 日（日）  
会 場：神戸芸術センター  
〒 651-0055 神戸市中央区熊内橋通 7-1-13  
新神戸駅から徒歩 5 分  
大会長：岡本篤剛  
準備委員長：石井信行  
大会テーマ：「心をはぐくむ 体をはぐくむ 未来を  
はぐくむ」

（大会内容）

- 1) 特別講演 I：  
「自閉症の僕の心をはぐくんだもの（仮題）」  
講 師：東田直樹氏（作家）  
「今，子育てを振り返って（仮題）」  
講 師：東田美紀氏
  - 2) 特別講演 II：「メディカル・コメディカルと共  
に行った商品開発（仮題）」  
講 師：宮木康有氏（元江崎グリコ（株）執行  
役員商品開発研究所長）
  - 3) 教育講演 I：「話す機能の獲得を「育む」とい  
う視点 歯科の現場での見守りと  
支援（仮題）」  
講 師：杉山千尋先生（大阪大学歯学部附属病  
院顎口腔機能治療部言語聴覚士主任）
  - 4) 教育講演 II：「近年の著しい技術進歩を用いた海  
外の歯科矯正治療に関して（仮題）」  
講 師：寺嶋雅彦先生（朝日大学歯学部口腔構  
造機能発育学講座解剖学分野講師）
  - 5) 認定歯科衛生士セミナー：「歯科衛生士の視点  
で『気になる子ども』をみる」  
講 師：野上有紀子先生（宝塚医療大学保健医  
療学部口腔保健学科准教授 歯科衛生士）
  - 6) 臨床歯科衛生士セミナー：「笑顔を育む歯科衛  
生士の役割～障害者歯科のアプローチ  
～（仮題）」  
講 師：松岡陽子先生（四日市市歯科医療セン  
ター副センター長，歯科衛生士）
  - 7) 一般発表：展示発表
  - 8) 商業展示
  - 9) ランチョンセミナー
- 大会事務局：（医）おかもところども矯正歯科クリニック内  
〒 662-0867 西宮市大社町 10-45

### 第 43 回中四国地方会大会および総会

日 時：令和 6 年 10 月 20 日（日）  
会 場：広島県歯科医師会館  
大会長：野村良太（広島大学大学院医系科学研究科  
小児歯科学教授）  
準備委員長：光畑智恵子（広島大学大学院医系科学  
研究科小児歯科学准教授）  
学会テーマ：「小児歯科における連携—人とのおつな  
がりを大切に—（仮）」

(大会内容)

- 1) 特別講演：長尾正崇先生（広島大学大学院医系科学研究科法医学教授）
  - 2) 教育講演：長澤康行先生（兵庫医科大学医学部総合診療内科学准教授）
  - 3) シンポジウム I：峯 裕一先生（広島大学大学院医系科学研究科医療システム工学講師）
  - 4) シンポジウム II：濱田正和先生（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔腫瘍外科学講座助教）
  - 5) 認定歯科衛生士セミナー（調整中）
- 大会事務局：広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学 〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

第 42 回九州地方会大会および総会

日 時：令和 6 年 11 月 17 日（日）  
 会 場：九州歯科大学講堂, 301 講義室, 401 講義室  
 大会長：未定  
 準備委員長：渡辺幸嗣（九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野）  
 大会テーマ：「みんなで子どもを見守ろう！— 患児の抱え得る多様なニーズ—」（未定）  
 （※講演者，講演内容「未定」）

〈日本小児歯科学会関東地方会〉  
令和 4~5 年度 役員名簿

会 長	浜野 美幸		
副会長	岩下 智	小方 清和	
幹事長	藤岡 万里		
会 計 幹 事	山崎 優		
	巢瀬 賢一	諸星 孝夫	
	中村佐和子	高橋 康男	
	関口 五郎	富永 真澄	
	草間 里織	吉中 律	
	熊澤 海道	権 暁成	
	保田 将史	関 龍彦	
	島津 貴咲	長弘 茂樹	
	塩野 康裕	敦賀 佐和	
	三井 園子	小平 裕恵	
監 事	早川 龍	高野 博子	
顧 問	吉田 昊哲	井上美津子	
	井上 雄温	丸山進一郎	
	田中 晃伸	田中 英一	
ジョイント 4 委員会	草間 里織		
広報・学術委員会	熊澤 海道		
モニター委員会	関口 五郎		
歯科衛生士委員会	吉中 律		
ICT 委員会	権 暁成		

■編集後記

関東地方会会報 38 号をお読みいただきありがとうございます。

今号も多くの方々のご協力により無事発刊できたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も落ち着き、学会等もオンライン開催からハイブリットによる開催、そして現地開催となるなど以前の装いを取り戻してまいりました。「あたりまえの日常」を送ることができていることがいかに尊いことであるかを感じずにはいられません。さらにコロナ禍という逆境の中、幅広い情報を入手したり、多くの人たちとコミュニケーションを図るための様々な新しい技術が進化しています。このように人間は困難に挑み、前に進んでいくのだと感じる今日この頃です。次年度はさらに皆様と直接お会いして交流する機会が増えるであろうことを楽しみにしております。

最後までお読みいただきありがとうございました。次号も温かく見守っていただければ幸いに存じます。  
(熊澤海道 記)

〈お知らせ〉

住所変更、姓変更は本会事務局では取り扱っておりません。  
必ず(一財)口腔保健協会 〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9  
TEL 03 (3947) 8891 (代) へお願い致します。

令和 6 (2024) 年 2 月 22 日 印刷  
 令和 6 (2024) 年 2 月 29 日 発行  
 発行者 浜野 美幸  
 発行所 日本小児歯科学会関東地方会 会報編集委員会  
 〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-3-25  
 緑生会あびこクリニック 歯科  
 日本小児歯科学会関東地方会事務局 TEL 04-7184-0675

# 「成長と発達」の異常を示す小児に潜む遺伝性疾患 低ホスファターゼ症 (HPP)

～ALP値100台なら“注意”、二桁なら“強く疑う”～

Case	6歳男児 (海外症例)	病歴
運動障害、成長障害、 および骨格系障害を 示した小児HPP例	生後13ヵ月: 外反膝 (X脚) 生後14ヵ月: 乳歯早期脱落 生後18ヵ月: 手首にくる病様症状 (骨幹端のフレアリング) 2.5歳: 小児型HPPと確定診断	5歳: 歩行困難 6歳: 身長 (-0.9SD) 体重 (-1.3SD) ALP値 (48U/L) (参考: 年齢別・性別基準範囲157.5~437.5U/L)

紹介する症例は臨床症例の一部を紹介したもので、すべての症例が同様な結果を示すわけではありません。

Whyte MP, et al. Asfotase alfa therapy for children with hypophosphatasia. JCI Insight. 2016; 1(9): e85971  
 [利益相反: 本研究はAlexion Pharmaceuticals, Inc.の支援を受けて実施しました]

このような症状を呈する患者さんを診察した際は  
ALPの測定を検討して下さい

**骨格系障害**  
7歳2ヵ月男児 (海外症例)<sup>1</sup>



- 石灰化障害
- くる病様症状
- 低身長

**筋肉/関節症状<sup>2</sup>**



- アヒル様歩行/異常歩行
- 筋力低下
- 運動発達遅延
- 筋肉痛/関節痛

**歯科症状<sup>3</sup>**



- 乳歯の早期脱落

1. Used with permission of American Society for Clinical Investigation, from Whyte MP, et al., JCI Insight. 2016; 1(9): e85971; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc. [利益相反: 本研究はAlexion Pharmaceuticals, Inc.の支援を受けて実施しました]

2. 低ホスファターゼ症診療ガイドライン作成委員会、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業「診療ガイドライン策定を目指した骨系統疾患の診療ネットワークの構築」研究班 (研究開発代表者 大園恵一) 作成: 低ホスファターゼ症診療ガイドライン. 2019.

3. Okawa R, et al., J Clin Case Rep. 2016; 6, 2.

通常、成長期の小児におけるALP値は、成人の基準範囲より  
高い値を示します。測定したALP値の評価には小児の  
年齢、性別にもとづいた基準範囲による判定が必要です



疾患情報  
サイトへ



ALP基準値  
を確認

**ALEXION**<sup>®</sup>  
AstraZeneca Rare Disease

患者さんのお口発育のサポートをしませんか。



キレイな歯ならば生涯の財産です。



トレーニング用の資料と動画を多数収録！

新発売！



# Kids/ Smile



## お口育てNavi

Kids smileは口腔周囲筋の発達を促すトレーニングやトレーニングの記録を一元管理することができます。



これらのお悩みがあると感じられましたら

Kids smileを導入いただくことで改善できるかもしれません。

お悩み 1

担当者によって  
トレーニング内容に  
差がでてしまう…

お悩み 2

自宅でもトレーニングを  
してほしいが  
媒体を作るのが大変…

お悩み 3

トレーニングの  
必要性を上手く  
伝えられない…

お悩み 4

同時に  
トレーニングしたい  
患者さんが複数人いる…

Kids smileに収録されているトレーニング用の資料と動画のサンプルをご確認いただけます。ご希望の方は下記URL、または右QRコードよりダウンロードください。



[https://www.forest-one.co.jp/dl\\_kidssmiledoc01/](https://www.forest-one.co.jp/dl_kidssmiledoc01/)



Kids smileのお申込はこちら

▶ <https://kids-smile.jp/register>



■お問い合わせ先

**Forest-one**

株式会社フォレスト・ワン

〒274-0825 千葉県船橋市前原西2丁目19-1 津田沼ピート4階・5階

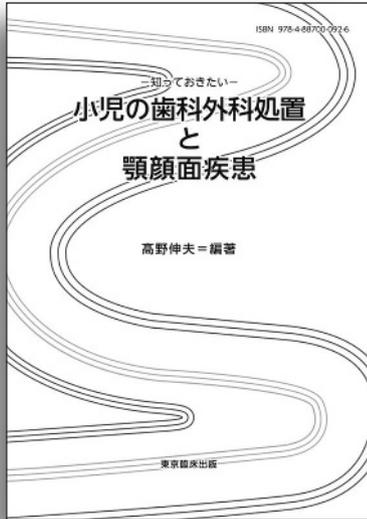
TEL/047-474-8105 FAX/047-474-8106 MAIL/info@forest-one.co.jp



LINE

LINEからもお問い合わせいただけます

# 書籍案内



—知っておきたい—

## 小児の歯科外科処置と顎顔面疾患

高野伸夫＝編著

本書では代表的な歯科外科処置についてわかりやすく解説する。術者は復習の意味から、また、介助者は安全で的確な治療を支えるために参考にしていたきたい。

■ A4判 /フルカラー/ 134ページ  
定価：2,530円（本体2,300円+税）

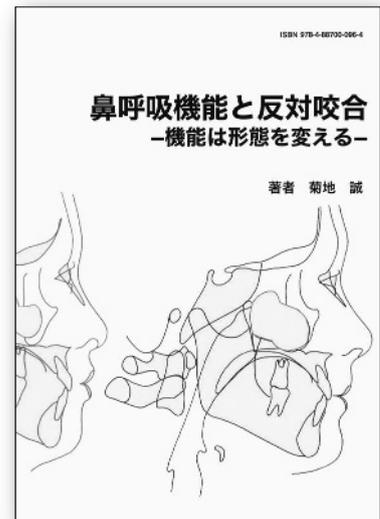
## 鼻呼吸機能と反対咬合 —機能は形態を変える—

菊地 誠＝著

本著では、顎顔面の「機能と形態」の成り立ち、環境因子による変化、および耳鼻科治療、矯正治療による変化の過程を、矯正医の視点から鼻呼吸機能に焦点を絞り、比較検討することで、著者の臨床を通した「機能と形態」についての考え方を示している。

デモンシステムを始める初心者への道標として、また、すでにデモンシステムを使われている先生方には知識の確認としてご活用いただきたい。

■ A4判 /フルカラー/ 178ページ  
定価：11,000円（本体10,000円+税）



## 小児歯科の今と明日を見つめて—。 月刊「小児歯科臨床」

毎月1日発行 / 編集協力：全国小児歯科開業医会（JSPP）

■情報の視野を広げる充実のシリーズ

○巻頭特集

- ・子どものライフスタイルと健康との関わりを各界、分野の専門家が多彩な切り口で迫る。
- ・明日からの診療に役立つ情報を最新のエビデンスを交えて提供。

○臨床研究・臨床報告 ○エッセー ○活動報告

■ A4判変型（フルカラー） [定価] 3,080円（本体2,800円+税）  
年間購読料（12カ月）36,960円（33,600円+税）





Official partner



Minimally Invasive  
Cosmetic Dentistry



**Smart Prevention** Smart Preventionは松風が提唱する従来のフッ化物応用による予防処置とは異なる、S-PRGフィラーを応用した新しい予防コンセプトです。



イオン徐放型トリートメントペースト

# PRG プロケアジェルα

## S-PRGフィラー配合 トリートメントペーストが 予防領域に登場

### S-PRGフィラーって？

松風が独自に開発したバイオアクティブなフィラーです。6種類のイオンリリースにより、抗プラーク付着性の他、酸中和能の発現や、エナメル質の脱灰を抑制する特長を有します。



### PRG プロケアジェルα

¥3,200

容量 80g

香味：ライムミント

販売名	一般的名称	承認・認証・届出番号
PRG プロケアジェル α	歯面研磨材	一般医療機器 医療機器届出番号 26B1X00004000283

価格は2023年12月現在の標準医院価格（消費税抜き）です。

松風では独自技術S-PRGフィラーを含む製品群を「Giomer」としてカテゴライズしています。特設サイトはコチラ▶



製品の詳細はこちらまで…

松風  検索 [www.shofu.co.jp](http://www.shofu.co.jp)



世界の歯科医療に貢献する

## 株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11 お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く) [www.shofu.co.jp](http://www.shofu.co.jp)  
●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595